



国民春闘共闘

第12号

2015年3月16日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

ストライキ決起で再回答引き出す

郵政ユニオン・ストライキ決行

全国24職場で75名が立ち上がる

郵政産業労働者ユニオン（郵政ユニオン）は16日、「正社員・月給制契約社員・高齢再雇用社員の月額2万円以上の賃金引上げ、時間給契約社員の時間額200円以上の賃金引上げと最低賃金1,200円以上」「非正規社員の正社員化と均等待遇を実現」、「大幅増員で労働条件の改善と利用者サービスの向上」などの要求に対し、日本郵政各社が「ベアゼロ」「均等待遇要求には応じられない」とした極めて不誠実な回答を示したことに抗議し、全国24職場で75人の仲間がストライキに立ち上がりました。ストライキ拠点職場での局舎前集会・宣伝などには、他産業や地域の仲間を含め全国で1000人を超える仲間が結集しました。

～15春闘勝利！正社員化と均等待遇を求め日本郵政グループを包囲～



郵政ユニオンは、2月13日付けで要求書を日本郵政グループ各社に提出し、同日から5回の交渉を積み上げてきました。しかしながら、3月13日に郵政各社が示した回答は「ベアゼロ」「均等待遇要求には応じられない」とした極めて不誠実な内容であり、16日に全国24職場で75人がストライキに決起し、怒りの声をあげました。

11時から東京・霞が関の日本郵政本社前で行われた「15春闘勝利！正社員化と均等待遇を求める3・16

ストライキ突入本社前集会」に支援の仲間を含め180人が参加したのをはじめ、大阪北局前での集会にはストライキに突入した4人の組合員のほか、大阪春闘共闘、大阪全労協、地域共闘の仲間など約70人が結集。北海道・札幌中央局、岩手・盛岡中央局、東京・玉川局、神奈川・藤沢局、千葉・佐倉局、静岡・浜松東局、愛知・名古屋港局、京都・左京局、兵庫・垂水局、神戸中央局、広

島・広島中央局、香川・高松局、高知・高知中央局、福岡・福岡中央局、北九州中央局の15局舎前で早朝・昼・夜に集会宣伝を実施し、日本郵政グループを包囲しました。

神戸東播支部が夜間にかけて引き続きストライキを執行するなか、日本郵政グループ各社は同日16時20分、『別途回答』になっている部分に再回答を行いたい」として郵政ユニオンに回答を送付。再回答の主な内容は、①期間雇用社員のモチベーションを考慮し、月給制契約社員、時給制契約社員それぞれについて賃金改善を実施する。なお、具体的な改善内容については、現在最終検討を行っており、別途、回答する、②正社員の一時金については、「年間3.7月」、「特別手当」の支給検討、③基本給の改善については後年度負担となる基本給の改善を行うことは困難、④4月の新規採用で約1800人の正社員増となる見込みであり、新規採用者も含めた要員配置等の適正化を図りつつ、効率的な業務運行については総労働時間の削減を目指していく、となっています。

再回答を受け、郵政ユニオンは「月給制契約社員、時給制契約社員それぞれについて賃金改善を行う」との回答については検討した表れとして読み取れるものの、「5年連続での一時金の削減、ベアゼロについては到底認めることはできない」。大幅増員要求について、「人員不足で利用者サービスに重大な影響を及ぼしている職場実態をすべて現場まかせにしており、本社として機能と役割を果たしていない」と判断し、本社に対し回答の説明と交渉の場を求めました。



郵政ユニオンは、「ストライキ拠点支部を先頭に、局前行動や門前朝ビラ行動など、郵政ユニオン全地本・全支部が『行動する春闘』を全国一体となつてたかかった成果として、日本郵政グループから不十分でありながらも『有額』の回答を引き出させた」と見解を示し、「3月23日、24日に全国の地本・支部で設定している『第三波春闘行動』を大きく成功させ、日本郵政グループ各会社に再回答を強く迫り、交渉開催を求めていく」と納得のいく回答を求め奮闘していく決意を固めています。

まもろう憲法と暮らし ストップ暴走政治 実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定